

Bunkyo teens magazine

Cha! Cha! Cha! 16^{vol.}

b-lab ちゅみ食い!

中高生の活動を応援するマガジン

おねがい

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
来館時は必ずマスクを着用してください。
その他の利用条件は、社会状況によって
異なる場合がございます。

b-lab 公式ホームページでチェックしてね！

各種 SNS の ID はこちら↓



b-lab blab_tokyo blab_tokyo

公式ホームページ <http://b-lab.tokyo/>



YouTube チャンネル開設しました！
「文京区青少年プラザ b-lab」で検索！

文京区青少年プラザ b-lab(ビーラボ)



開館時間 9:00 ~ 21:00(中学生の利用は 20:00 まで)

休館日 12/29 ~ 1/3、保守点検日(年1回程度)

〒113-0034 東京都文京区湯島 4 丁目 7 番 10 号 お問合せ: 03-5800-2731

※社会状況により、開館時間や利用ルールに変更あり

発行: 文京区 制作: b-lab 印刷番号: L0421051

ただいるだけで 楽しくなる場所



(A) プレイヤード



(B) 外観



(C) 本棚



(D) ゲーム

右 (A)：プレイヤード。ちょっと外の空気に触れて息抜きして。左上から外観 (B)：開放的で綺麗な建物。本棚 (C)：本やマンガを自由に読んで。ゲーム (D)：Switch やボードゲームの貸し出しあり。

ビールボってどんなところ？

東大と湯島天満宮からほど近い、静かな住宅街にある文京区教育センター。この中にビールボがある。受付通ると広がるのは談話スペース。勉強してもいいし、友だちとおしゃべりしてもオッケー。本棚にある本やマンガを読んだり、受付でボードゲームやニンテンドースイッチを借りて遊んだり。パソコンやタブレットを借りて使うこともできる。1人でふらりと来ても、友だちと待ち合わせをするにもいい場所だ。

バンドや吹奏楽など音楽活動をしているなら、スタジオ利用がオススメ。無料でスタジオが借りられる。ダンスの練習など身体を動かしたいなら、ホールで。ここでは多様なイベントの開催も可能。アート活動なら、クリエイティブスペースで。立て看板ぐらいの大きな制作もできる。イラストや映像制作といった講座もあるから、興味があつたらぜひ！

2階には自習のできる研修室と、息抜きのできるプレイヤード。3階には卓球ができる軽運動室もあり。

好きに利用するうち、自分の可能性が広がるかも。

教育センター1階にあるのが、b-labの談話スペースとホール、音楽スタジオ。

左上からホール (E)：利用が多いのはダンスの練習。ほかにフリスビー、ビーチボールパレー、スポーツイベント、中高生のミーティングなど、いろいろな利用ができる。左上の中 (F)：2階の研修室は自習利用。長机でゆったり勉強、集中できそう。左上の下 (G)：3階の軽運動室。卓球で盛り上がろう！1人だったらスタッフに声をかけてみて。上中 (H)：クリエイターズスペースにはいろいろな工作グッズが揃ってる。上右 (I)：スタジオでは楽器の貸し出しも。下 (J)：談話スペースは自由空間。友だちと遊んだり、勉強したり、本を読んだり、パソコンを使ったり、好きに過ごして。(ホール・音楽スタジオに関しては「b-labのフェス」ページで詳しく紹介。)



(E) ホール



(F) 研修室



(G) 軽運動室



(H) クリエイターズスペース

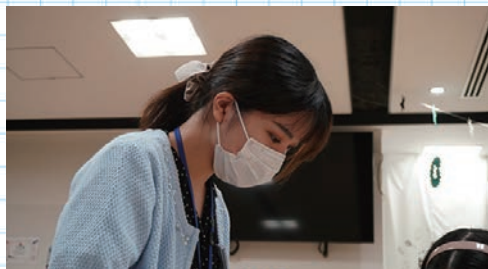


(I) スタジオ



(J) 談話スペース

“やってみたいを
実現できる場所”



マナビ場対談

大学生インターン
なおぽん

高校3年生
すみか

スタッフ
よこしん

マナビ場は皆で自習をしたり、スタッフや大学生に教えてもらったり、探究的な企画があるなど、「色々な形の学びがあるね」という場。今回は担当のよこしん（以下よこ）となおぽん（以下なお）、マナビ場によく参加してくれている、すみか（以下すみ）と、3人で受験や勉強について語りました。学び方は人それぞれ。この対談を読んでいるあなたも、ピーラボでの良い学びが得られますように。

得意科目は何ですか？

すみ 得意な科目はないけど、強いて言うなら、テスト勉強しなくても平均点がとれる歴史です。

なお 数学が好きなんですけど、苦手だったから勉強して、大学受験前ぐらいに、ようやくできるようになりました。

よこ 英語かな。洋楽の歌詞を覚えたり、歌手のインタビュー記事を読みたくて英語ができるようになりたいって思ったんだよね。

自分流の勉強スタイルは？

すみ ピーラボで勉強することです。家ではなかなかできなくて、人がいる談話スペースでイヤホンをつけて音楽聴くと、集中できるんです。

よこ 大学受験の時は勉強する科目の順番を決めてた。英文は『DOU』を聴いてたんだけど、それは昼にコンビニへ行く時に組み込んで、あと寝る前に今日やったことを思い出して脳内でおさらいするようにしてたな。

なお 私は数学から勉強してました。やりすぎて2時間とか。バス通学だったので、乗っている間は単語帳を覚えるなど、時間を決めて勉強していました。

どんな受験期でしたか？

よこ 進路でいうと、オレは中学受験で高一貫校に入ったけど、高3ぐらいまで本気で進路を考えてなかったな。医者になろうと思って高3の夏までは理系にしていたけど、物理で苦しんでいる時に、そんなに医者になりたいわけじゃないって気づいて。それよりも、人について学びたいと思って文系に変更した。それで受験に間に合わなくて浪人。大学では社会学・哲学・文学を学んだ。

なお 私もお姉ちゃんの影響で中学受験しました。詰め込み式の学校で勉強の毎日。中3の時に医学に興味をもって生物系に進もうと決めて、高一から受験勉強をしました。ただ今は医学というよりも光合成の研究に興味があります。

すみ 高校受験の時は、中3になってから志望校をコロコロ変えてしまいました。都立高から国立高へ、第一志望を変えたのですが、2月に落ちてしまい、更に受験校を変えたのでバタバタしました。今は国公立の大学を目指していますが、高3になっても実感がわかって。最近ようやくその自覚が芽生えてきて、頑張っています。

勉強嫌いにならない？

すみ 勉強が嫌いだとは思ってなくて、生活を組み立てるほうが苦手です。やりたい勉強が色々あっても、うまくできないし、周りの人は当たり前のように計画立てができる人が多いので、落ち込んでいました。でも最近は、しやうがないと思うようにして、欲張らず自分のペースで頑張っています。

失敗談を教えてください！

よこ テストの失敗は大小色々あるよね。オレは中高時代に計画的な勉強をしてなくて、学校のテストは一夜漬けでも点数が取れていて、調子に乗ってた。模試を受けて、自分の実力を知らなくて、結果を受けて、こんなにできないんだって思った。当時は定期テストをナメ過ぎていたな。

すみ 殆ど同感です（笑）。高一の時は今よりも体力があつて、4日間ぐらい一夜漬けしたこともありましたが、それで平均点は取れていたんですけど、体力が段々落ちて一夜漬けができなくなって、高2で赤点取ってしまっ……。

なお 私は不安になってしまいうので、一夜漬けをしなくてもできな……

マナビ場について一言！

よこ 自習室しか使ったことがない人でも参加しやすいイベント。

なお 勉強嫌いだけど、少し覗いてみようっていう人でも大丈夫！ハードル高くなく参加できます！

すみ 人目があるから勉強しやすい。学校の先生に聞き辛いことも気軽に質問ができるので、とても助けてられています。

b-lab 館内の装飾作り

一緒にやる？

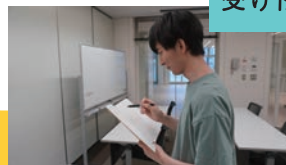


ゲーム対決もどんとこい！



勉強の質問も、

受け付けまーす！



こんにちは、
今日もビーラボ楽しんでね！

スタッフと

いっしょに、できる

b-lab スタッフは運営の仕事もしているけど、それだけではない。

みんなが b-lab でのびのび楽しめるように、ほっとできるように、
やってみたいことに挑戦できるようにと、日々、考えているのだ！

b-lab スタッフと話して、きみの可能性を広げよう！

スタジオの講習だけじゃなく
時には演奏も…？



今日あった事
教えてね



読みたい本の

リクエスト受付中！



フリペづくりも楽しいよ♪



一緒に考えよう

ビーラボでのイベントを



誰でも声優になりきれイベント。中学生の
とわが企画からシナリオ作成、当日の進行ま
で担当。参加者は、オリジナルのシナリオか
ら好きなキャラクターを選んでセリフを言
います。同じシナリオでも、読む人が変わる
だけで全く違う作品になるのが魅力です！



テーマに沿って、自由に描いてよい！という
イラストイベント。高校生のひびきは、イラ
ストを描くのが大好きで、このイベントを企
画しました。「りんごなど同じテーマでも、参
加者それぞれの絵が、全く違う雰囲気であ
り上がるのが新鮮でした！」



b-labの主役が中高生なら、b-labの使い方も
中高生で考えたい！ということで、中学生の
れおが主体となって立ちあげたプロジェクト。
「今のb-labが好きだから、もっと良くでき
るようにみんなで話し合いながら、いろんな角
度から考えていきたいです！」

イベント企画
随時募集中



ふうちゃん

友人と一緒に来館。
謎解きイベントを企画したことをきっかけに、
色々なイベントを主催するようになる。



ゆうがくん

ドラムの練習のためにb-labを利用し始める。
先輩の音楽系イベントを手伝うところから、
自ら主催するまでに。

b-lab はただ施設として利用するだけでなく、

自分でイベントをすることもできるって知ってた？

ここでは経験者の歩みを紹介。

みんなも自分なりの b-lab の味わい方を見つけてね。

b-lab を
より味わう方法

b-lab では『好き』を発信して他の人の
『キッカケ』になることもできる。
そこにやりがいを感じています！

「もっといろんなことをやりたい！」
推し語りイベント、スライム作り、
プログラミング講座なども主催。

2回目の謎解きイベントを企画。
問題の難易度を下げたことで、
前回より参加者が増えて満足！

夏フェスに参加したら、
雰囲気がすごくよかった！

友だちが夏フェス会議に参加し
ているのを見て、やってみたい
と思ってイベントを企画した。

ふうちゃん
初来館

友だちに
「b-lab で卓球やろう」
と誘われて来た。

頑張って集客したのに、
参加者がなかなか集まら
なくて悔しかった…

謎解きイベントを
友だちと主催。

新たに音楽イベント「びーおん！」を
立ち上げ、ドラム講座を担当する。

緊張したけど、めちゃくちゃ楽しかった。
もっとやりたかった！

音楽仲間と一緒に音楽イベント
「b-sound」を運営する。

ドラマーを募集していると聞き、
バンドに加入して「夏フェス」
に出演。人前で初めて演奏した！

ゆうがくん
初来館

ドラムを練習するため
1人でb-labに来るよ
うになった。

ドラム講座に来てくれた人のほとんどが
「ドラム楽しい」と言ってくれたり、自主的
に練習するようになった子がいたりして、
手応えを感じています。

このときはまだ、b-labで友だち
ができるとは思ってなかった。

誰でも参加できる b-lab のフェス

秋シーズン、多くの学校で盛り上がる一大イベントといえば、文化祭。

b-lab でも「フェス」と呼ばれる文化祭イベントが夏、冬、春の年3回行われ、

ステージでのパフォーマンスや、b-lab 内での様々な企画が行われます。

出演、企画、裏方運営に観客も。全員が主役になれるのが b-lab のフェス。

みんなでつくる思い出

——以前のフェスで全体統括（PM）を務めたスタッフのかじくんに、ピーラボのフェスについて聞きました。
「フェスは自分なりの挑戦ができた、やってみてみたいことを実現できたりする場です。」

——昨年、学校の文化祭が中止になったり、オンライン開催になったりして、やってきたことの披露の場がないという話が出ていましたね。
「なので、スタジオを利用している方たちには、フェスというパフォーマンスができる場があるんだって、沢山声をかけました。」

——生ライブはやはり違いますか？
「僕自身も高校生の時にバンドをやっていたので、生ライブの楽しさがとても分かります。感染症対策で観客は声をあげられないのですが、ペンライトなど、観客側から反応があると、演奏する側も観客との一体感を感じて、楽しくなりますね。その次のフェスでは、観客だった中高生がライブを行う側になるなど、憧れの連鎖もあるのが嬉しいですね。」

——音楽やダンスステージ以外にもピーラボ館内でのイベントもあると思いますが、その良さは？
「クイズとかアート展示とか卓球大会とか。複数の企画が同時進行するのが良いところだと思います。当日、何気なく来館した中高生も自然と参加できるし、準備期間に中高生も大人も、それぞれがフェスに向けて頑張るというシーンが同時並行するから、ピーラボとしての一体感が生まれている気がします。」

——全体運営の裏方に徹する中高生もいますよね。
「運営担当の中高生は自分の得意なことを伸ばしたり、はたまた舞台照明など、新しい分野に挑戦してみたりしています。時には他の中高生と意見が食い違ってしまったり、どうするか悩んでいたり。など、そういう困難もひっそりめぐる青春が詰まっていると思うし、成長の機会になると思いますね。色んな人が関わるからこそ、フェスはみんなでつくる思い出の場なんです。」



ステージには出演者だけでなく、照明や音響担当も欠かせない。いかに盛り上がる演出をするか、フェスの場で初めて運営側を経験する中高生も多く、挑戦してみると新たな興味が見つかるかも。



観客側までついつい身体がノってしまふダンスパフォーマンス。スタッフのかじくん（写真左）とふーちゃん（写真右）はフェスを通して人生で初めてダンスを披露するなど、参加ハードルは低い。



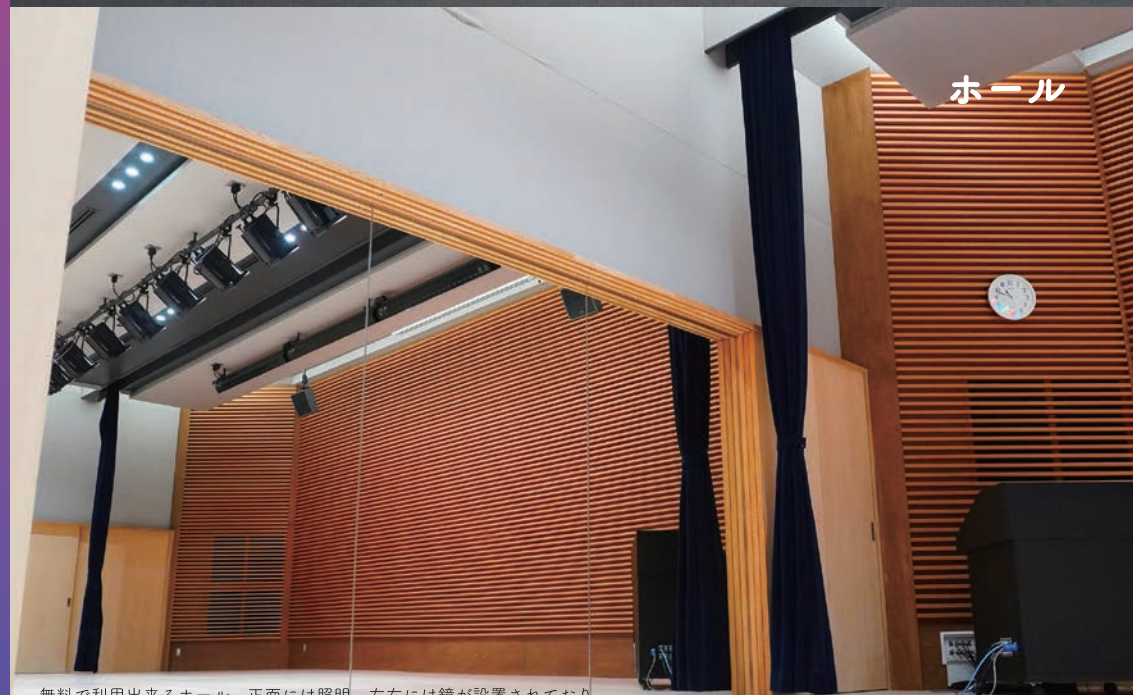
学校で組んだバンドで出演するもよし、ピーラボで出会った仲間と出演するもよし。有名な邦ロックからアニソンインストバンド、知る人ぞ知る洋楽まで、様々な音楽に触れることができるのも魅力。

音楽スタジオ



無料で利用出来る音楽スタジオ。楽器やマイク等機材の貸出だけでなく、これから音楽を始めたいという人にも、他の中高生やスタッフが教えてくれる機会も。現在Aスタジオは4人まで、Bスタジオは1人まで利用可能。（利用方法は状況によって異なります。詳しくはHPを確認してください。）

ホール



無料で利用出来るホール。正面には照明、左右には鏡が設置されており、防音でもあるので、特にダンス利用にはおすすめ。

スピーカーや撮影機材の貸出なども行っており、最大10人まで利用可能。（利用方法は状況によって異なります。詳しくはHPを確認してください。）

研究室利用をきっかけに

最初は卓球をするためにビラボに来たかな。中学校に上がって、仮入部が始まる前、時間が余っていたので、友達と運動をしに来ました。そこからビラボに遊びに来ることはあまりなかったんですけど、高2になって受験が迫ってくると、研修室を使うようになりまして。塾の自習室に比べて机が広々としていて使いやすかったですね。受験期になると、3年生は勉強をするのが当たり前という雰囲気が出てくるので、受験の実感がわかなくて不安でした。自分は勉強が好きではなかったのですが、でもスタッフが自習終わりに声を掛けてくれて、自分の頑張りを認めてくれたので、それがとても励みになりました。

ビラボに恩返しを

受験が終わると談話スペースを利用するようになって、

始まりはダンスから

最初は高校のダンスサークルの練習で利用していました。高1の時、スタッフと話そうになって「ダンスのイベントに出なよー」って言われて、私たちが発表の場が欲しかったので、出ることにしました。先輩たちがスタッフとイベントの打ち合わせをして、私も照明担当として、話し合いに参加しました。こうして参加したイベントの他にも、小学生から大人まで出演する地域のイベント（「コミュニケーションプラザ」）への参加やビラボのフェスに出演もしました。サークルの先輩が卒業した後、私が代表となりました。今思うとビラボでやっていたことは、仕事っぽかったかな。イベントの集客を考えたり、他の年代とフェスについて話をしたり。楽しいこともあったけど、葛藤していた時間が長かったかな。

それまで研修室で顔をあわせていたけれど、話しかけられなかった同年齢の人たちと交流するようになって。それから、自分達を応援してくれたビラボに恩返ししたいって話になり、「有終のb」という企画を立ち上げました。企画を通して、館内外の清掃、本棚の整理、広報活動などを行いました。最初は研修室利用の人たちだけでやっていただけで、他の高3も賛同してくれて、最終的には10人ほどに。みんな能動的に活動していて、すごいなと思いました。

サークルで経済を学ぶ

大学は商学部なのですが、経済やマーケティングが面白そうだなと思って選びました。今（7月時点）はまだオンライン授業が中心で、基本的なことしか学ばないので、強い興味を持つことは少ないかな。サークルは、経済の研究サークルとダンスサークルに入っ

ビラボのゆるさが好き

そんな理由から、ビラボではやらなきゃいけないことを考える時間が多くて。そんな時に「お味噌汁、いいですか？」とか他のスタッフに声掛けられて、プレッシャーが強かった分、その緩さにはほっとしました。スタッフには私の話を柔らかく受け止めてくれる人がいれば、自分の経験を話してくれる人もいて、それまで親や教師以外の大人の話を聞く機会ってなかったから、新鮮に感じました。こういう人になれたらいいなって思いますね。私はコミュニケーションを取るのには苦手な方だったけど、ビラボでは話し掛けられて嬉しかったから、今大学では自分から話しかけようって意識してやっています。

デザインがんばってます

今私は地方の美術大学視覚デザイン科にいます。都内の

ています。経済の研究サークルでは利益をあげられる事業を考えていて、ビジネスコンテストに向けて先輩と話し合い、アイデアを出し合ってますね。先輩からアドバイスを貰ったりして刺激になっています。

ダンスは今までやったことなかったんですけど、大学で再会した小学校の友達と一緒にサークルに入りました。ビラボでスタッフが話し掛けてくれたことで、僕は他の人と繋がるのができたので、大学では自分が繋がりをつくれるように、積極的に話しかけるようにしています。

今はまだやりたいことが見つからないので、大学では将来何をやりたいかを見つけてようと思っています。周囲には優秀な人も多ので、刺激を受けながら成長していきたい。また、自分も周りに刺激を与えられるような人になりたいです。

{卒業生インタビュー企画} b-lab と 今の自分

中高生の頃、b-labをよく利用していた、大学1年生の品田くんと大学2年生の御給さんに、b-labを利用していた当時の話や、現在についてインタビューしました。学年を重ねる毎に益々活躍している彼らの姿に注目。

品田悠希
2020年度卒
大学1年生

作品例



大学の授業において、ウェブデザインの基礎を学ぶ。商品や印象付けるため、レイアウトにこだわって制作。



バーのロゴをデザイン。1度見たら忘れないような印象を持たせながらも、誰でもお店に入りやすいカフェのような雰囲気コンセプト。

御給みのり
2019年度卒
大学2年生